

大雨被害などに役立てて

県に15万円寄託

秋田ふるさと応援団

首都圏在住の県出身者でつくるNPO法人・秋田ふるさと応援団が10日、チャリティーイベントの収益金の一部15万円を県東京事務所へ寄託し

た。スポーツ、文化の振興や、昨年7月の記録的大雨被害の支援に役立ててもらおう。

三平俊悦理事長ら4人が東京都千代田区の都道府県会館を訪れ、坂本雅和・県東京事務所に寄付金を手渡した。三平理事長は「これからも秋田の若い高校生たちに頑張ってもらいたい」と述べた。

秋田ふるさと応援団は、首都圏や関西で県勢が出場するスポーツ大会に駆け付けて応援する活動が続けている。昨年12月にチャリティーイベント「スポーツ・文化・災害支援 秋田応援の集い」を都内で開き、県ゆかりの著名人ら

寄付金を手渡す秋田ふるさと応援団のメンバー



が寄せたサイン色紙のオークションや県産品の販売を行った。(伊藤正孝)

©秋田魁新報社